

平成 25 年度 事業 報告

平成 25 年 4 月 1 日から

平成 26 年 3 月 31 日まで

1. 臓器移植普及啓発事業

(1) 県内の新成人式、山形県観光物産市、市町村主催の健康まつり等において、リーフレット等を配布した。

(2) 10月の「臓器移植推進月間」を中心に、県アイバンク、県腎友会、骨髄バンクを支援するやまがたの会と移植医療関係団体と合同で、臓器移植を受けた子供の絵画を展示するギフトオブライフ絵画展の開催やその来場者への街頭啓発を行った。

【実施場所】

イオン山形南店、山形県立保健医療大学、荘内銀行桜田支店、
きらやか銀行本店、県政発信ギャラリー

(3) 県教育委員会主催の養護教諭の研修会において、臓器移植を題材とした授業の提案を行った。また、大学、専門学校、高等学校における「いのちの学習会」に、講師として臓器移植コーディネーターを派遣し、移植医療の理解を促した。

【実施場所】

東北文教大学、山形病院附属看護学校、山形厚生看護学校、
三友堂看護専門学校、鶴岡市立荘内看護専門学校、県立真室川高校

(4) 臓器移植の普及啓発のため、ポスター、パンフレット等を、県内医療機関、大学、専門学校、高等学校、保健所、市町村、警察署などに配布した。また、県庁のエレベーターや掲示板等でポスター広告も行った。

2. 臓器移植推進事業

(1) 山形県からの委託により、臓器移植コーディネーターを配置した。

(2) 移植医療に関する情報収集及び臓器移植コーディネーターの資質向上のため日本臓器移植ネットワークの症例検討会や各種研修会等に臓器移植コーディネーターを派遣した。

(3) 病院や透析医療機関における移植医療に係る勉強会に講師として臓器移植コーディネーターを派遣した。

【実施場所】

県立新庄病院、矢吹病院、尾花沢病院、矢吹嶋クリニック、
三友堂病院

3. 臓器提供体制整備事業

(1) 臓器移植推進専門部会において、患者本人や家族の意思に基づき臓器提供が可能な体制の整備、そして臓器提供時における県内病院間の連携体制の構築について、実践レベルでの検討を行った。

(第1回：10月4日、第2回：1月16日)

(2) 臓器移植推進専門部会の検討を踏まえ、臓器提供が可能な体制の整備に向け、病院における臓器提供発生時のシミュレーションが定期的に行われるよう周知するとともにその支援を行った。

【アドバイザー等支援実施】

県立中央病院、鶴岡市立荘内病院、日本海総合病院

(3) 県内病院における臓器移植への理解を深め、臓器移植に係る体制を整備するために設置した院内コーディネーターの連絡会議・研修会を開催した。(山形：7月12日、庄内：2月22日)

(4) 医療従事者が、院内の提供体制整備に必要な知識を習得するため、関連する学会等への参加経費について一部助成を行った(3名)。

(5) 臓器移植コーディネーターが、県内院内コーディネーター設置病院、児童相談所などを定期的に訪問し、情報交換を行った。

4. 財団資金確保事業

(1) 医療機関、金融機関、市町村等の窓口に活動支援募金箱を設置し、430,848円の募金を頂いた。

(2) イオングループが実施する黄色いレシートキャンペーンに参加し、63,200円の現物寄付を頂いた。(平成24年度活動分)

5. その他

(1) 平成26年1月の東北大学医学部附属病院での脳死下臓器提供の際、本県臓器移植コーディネーターを派遣し、隣県支援を行った。